



# governor's monthly letter

to Rotary club presidents and secretaries



自然の恵み  
大きな収穫を  
さらに大きく分け合おう  
レンドアハンド

## ガバナー月信 Vol.5

### 目次

挿絵：高橋一房雄

2. ガバナーメッセージ 地区大会をふりかえって
3. ローターリー財団月間によせて
4. 世界インターアクト週間によせて  
I.M. 報告
- 5-6. 第1分区 I.M. 報告
7. 第2分区 I.M. 報告
- 8-9. 第3分区 I.M. 報告
- 10-11. 第4分区 I.M. 報告
- 12-13. 第5分区 I.M. 報告
- 14-15. 第6分区 I.M. 報告  
委員会報告
16. 女性会員増強フォーラム報告
17. ローターリー財団セミナーを終えて
18. ライラ研修会報告
19. 国際大会PR
20. 新会員紹介・文庫通信
21. 出席報告/11月の予定



国際ロータリー第2840地区

2003-2004年度

ガバナー 森田均

〒377-0007 群馬県渋川市石原144-1

(協) 渋川電気センタービル2F

TEL. 0279-30-2840 FAX. 0279-30-2841

E-mail: morita@rid2840.net

http://www.rid2840.net

## 地区大会をふりかえって

国際ロータリー第2840地区  
ガバナー 森田 均

本年度の地区大会が、10月18日、19日の2日間、近藤雅臣RI会長代理のご臨席を頂き、自然おりなす北毛の地・渋川において開催されました。

10月17日の記念ゴルフ大会からの3日間、素晴らしい秋晴れに恵まれ、登録・参加を頂いた地区内47RCの多くの会員の方々の「思いやりの心」に支えられ、恙なく開催できましたことに心からお礼申し上げます。また満を持してホスト、コ・ホストを引き受けて頂いた渋川RCをはじめとする第5分区7RCには、大変お世話になりました。

ところで本地区区大会では、いろいろ考えさせられたことがあります。

そのうち特に重要と思われる2点のみ、以下に記しておきます。

1点目は、私がかねがね考えていた「地域に根ざすロータリー」を2日目の19日に実現できたことです。

この日は、中尊寺貫首千田孝信師の講演や陸上自衛隊第12旅団音楽隊などによるアトラクションという魅力的なプログラムを設定したことに加え、地域の方々の出演や一般参加を強力に呼びかけるという創意と工夫が大いに効を奏し、これまでにない約500名という多数の地域の方々による参加を得られました。

2点目は、あえて書かせて頂きますが、「会員の地区大会離れ」が急激に進んでいることが、残念ながら本年もまた実証されたということです。地区内会員約2300名のうち登録者1912名はまだしも、参加予定者933名という数字にもかかわらず、壇上で見る限り、会員の参加は、2日目午後でいえば地域の方々のそれより少なかったのではないかと思われました。

地区としても、地区大会のあり方について謙虚に自省し、真に魅力ある会員のためのそれを模索すべきことは当然のことです。しかしながら会員の方々も、是非とも年に一度の会員大会たるべき地区大会参加への意欲あるいは興味を強く持って頂きたい、と切に願わざるを得ません。

いずれにしても、多くの関係者の長期間にわたるご支援とご協力によって執り行われた本地区区大会が、会員の方々の「心に残る地区大会」であったことを密かに念じつつ、筆を置きます。

「ロータリー財団月間に寄せて」

国際ロータリー第2840地区  
ロータリー財団委員長 富田 佳典

十分に御理解いただいている事と存じますが11月はロータリー財団月間です。

今期の初め、森田ガバナーは“全てのロータリアンは傍観者であってはならない”と言われました。その為にもロータリー財団委員会の本年は、財団寄付金の入口と出口をわかりやすいように説明しなさいとの指示がありました。先日の各クラブ財団委員長によるセミナーで詳しく説明とお願いをしましたが、大筋の流れは次の通りです。

先ず入口 皆様の尊い浄財が全てです。年次寄付、恒久基金、ポリオプラス等に分かれています。毎年の事ですが既にこれ等は各クラブを通じて確実にR Iに送金されています。

さて出口と言われる使途目的と経過ですが、対象が大きすぎて分らないというのが難しいといわれる所かもしれません。財団プログラムとして

教育的プログラム

国際親善奨学金プログラム

国際問題研究のロータリープログラム

大学教育の為のロータリー補助金プログラム

研究グループ交換(GSE)プログラム

人道的補助金プログラム

地区補助金

個人向け補助金

マッチング・グラント(対海外クラブ)

3H・3H計画準備助成金 凍結中

ポリオプラス・プログラム

以上3つが出口の大きな分類です。教育的プログラムの各項は比較的よく目にしたり聞く機会が多いので、おわかりと存じます。人道的プログラムの中の地区補助金が新しく御理解いただきたい項目です。

2003-04年度からの新しい補助金制度がスタートしました。

シェアシステムによる分割割り当ては地区の年次寄付+恒久基金収益の60%を地区財団資金として地区で独自に使途を決定することができます。これをDDFといいます。残りの40%は国際財団活動資金、WFとして活用されるものです。因みに次年度より50:50となります。

この地区補助金は各地区周辺で使用できます。CAPと異なり地区内で植樹、車椅子の寄贈、識字率向上として在日外国人の為に辞書などの寄贈等多岐に亘りますが、その内容は自クラブのロータリー財団委員長にお聞き下さい。先日のセミナーにて「ロータリー財団地域セミナー・ハンドブック」をお渡ししてあります。詳しく解説してありますので、是非どうぞ!

傍観者でなく貴方の近くに良い対象をみつけ実際に手をつけてみませんか? 地域の方々がロータリー活動を直に見る事ができ、尚一層の御理解をいただけるでしょう。

奥が深く、素晴らしい内容を誇っているのがロータリー財団です。

これを機にどうぞ親しくお付き合い下さい!

## 世界インターアクト週間によせて インターアクト・クラブ結成について

国際ロータリー第2840地区  
インターアクト委員長 近野 雅博

毎年11月5日の週が「世界インターアクト週間」に定められています。今年度は11月3日～9日の1週間、1962年10月28日に米国フロリダ州メルボルンのメルボルン高校で初のインターアクト・クラブの創立日を記念して後に、理事会決定で11月5日に定められました。今日では、世界で約110カ国に8,700クラブ会員数20万人を超えています。日本では、2003年4月末現在558クラブ会員数14,091人です。(第2840地区は15クラブ466人)

インターアクトは、International Action (国際的活動) という意味をもっています。アンダーラインの部分の合成語です。インターアクトは、14歳～18歳の青少年または高校生のためのロータリーが提唱する奉仕クラブで、楽しく意義ある奉仕プロジェクトに参加する機会を青少年に与えるものです。インターアクターは新しい友人を作りながら、指導者としての技能と積極的な行動力を習得します。

インターアクト・クラブの結成は、ロータリー・クラブが地域社会で実施できる活動の中でも最も報いの大きい活動の1つです。インターアクト・プログラムにより、ロータリアンは、地域社会と国際社会への奉仕に関心を抱く将来性豊かな青年男女を指導する機会に恵まれます。ロータリアンは、将来は専門職に就き、地域社会の指導者として活躍する支援源となります。それに対し、インターアクト・クラブは提唱ロータリー・クラブに新しい活力をもたらし、奉仕の斬新なアイデアを提起し、プロジェクトの支援を増し、また、将来のロータリアンを育成します。

新世代奉仕活動委員会の青少年奉仕を開発する力になりますし、「青少年と共に活動を」実践できます。奉仕活動を行う団体のうち数少ない、地域の大人と青少年が活動を共に行う奉仕クラブです。

インターアクトの活動は、家庭・学校・地域・国際奉仕を軸に活動を行い、以下の事柄の重要性を学びます。「指導力と誠実な人格の育成」「他者を尊重し、進んで助ける態度」「各自の責任を果たし、一生懸命努力することの貴さ」「国際理解と親善の推進」(インターアクト要覧より)

各インターアクト・クラブは、1年に少なくとも2つの奉仕プロジェクトを遂行しなければなりません、1つは学校及び地域社会奉仕するもの、もう1つは国際理解を増進するものです。第2840地区と第2560地区では、国際理解の増進のために、合同で海外研修を実施しています。

インターアクト・クラブ拡大は、文部科学省も学生の奉仕活動の単位化を進めている事ですので、未提唱クラブにおいては、対象校を決めて交流を考えてください。例として専門職の講演・体験学習・優良・善行表彰等、インターアクト・クラブ設立に向けて努力をお願いします。

## 第1分区 IM 開催報告

国際ロータリー第2840地区  
第1分区アシスタントガバナー 神山 健  
ホストクラブ 前橋東ロータリークラブ

国際ロータリー第2840地区、第1分区のIMが前橋東ロータリークラブのホストのもとで、160名を超える出席を得て2003年9月7日に前橋マーキュリーホテルに於いて開催されました。

今年度は出席戴いたロータリアンが共通したテーマのもとで、同一した情報を修得し、今後のロータリー活動に活かして戴けたらという願いからパネルディスカッション方式によるIMの開催になりました。

開会にあたり記念講演として、森田ガバナーのご出席を賜り「ガバナー思いつくままに」と題してアナハイムでの貴重な経験とあわせ世界のロータリー情報や裏話などのお話をまじえご指導を戴き、IMに華を添えていただきました。

本年度のIMにおけるテーマは、森田ガバナーが掲げられた、7つの地区強調事項の中から、次の3つのテーマを選び設定いたしました。

全体会に於いては、各クラブ6名の会長に2名ずつ3組に分かれて戴き、第1分区内の地区役員の方々から、各々のテーマ毎に助言者としてお迎えし会場の出席者とともに、活気ある討論会となりました。

### 1、 第1テーマ：皆で魅力ある21世紀のロータリー作りを

(思いやりの心で手を貸そう)

パネラー 前橋RC 江原 毅 会長 前橋東RC 川口 明 会長  
助言者 曾我隆一 地区社会奉仕委員長  
司会 内山 均 (前橋東RC)

地域から見た「魅力あるロータリー」について江原会長より、50周年の記念事業の事例を参考に発表され、またクラブ内(会員)から見た魅力あるロータリー活動について、川口会長より発表される中で、曾我地区社会奉仕委員長のご助言を戴き活発な討議が交わされました。特に変えてよいもの、変えてはならないものを分けロータリー活動の改革を進めるべきとのご指導も戴きました。

### 2、 第2テーマ：退会防止

パネラー 前橋北RC 鈴木 實 会長 前橋南RC 藤井正一 会長  
助言者 花井博将 地区クラブ奉仕委員長  
司会 岩田義光 (前橋東RC)

在籍10年前後の会員の退会防止についての現状とその対応などを中心に鈴木会長より、また新会員の退会防止のクラブ内での対応について藤井会長より発表された中で、地区での1400名の退会防止アンケート結果から学ぶものは何かについて、花井クラブ奉仕委員長よりご助言を戴き活発な討議がなされました。

### 3、 第3テーマ：女性会員の増強

パネラー 前橋西RC 町田昭一 会長 前橋中央RC 上村 豊 会長  
助言者 稲木愛子 地区女性会員増強委員長  
司会 相澤克也 (前橋東RC)

昨年度2名の女性会員を迎えた経緯と入会された女性会員の感想などを交えた町田会長の発表と設立時より女性会員が入会され、また地区内でトップの6名の女性会員を有し10年を迎えようとしている中央クラブの現状を上村会長より報告受けました。稲木地区女性会員増強委員長より、女性会員増強アンケートを参考にされた適切なアドバイスを受け有意義な討論となりました。



全体風景



登壇者



ガバナーへの突然の質問



第2テーマ



和やかな懇親会



懇親会アトラクション

## 第2分区 IM 開催報告

国際ロータリー第2840地区

第2分区アシスタントガバナー 金井 栄則

ホストクラブ 桐生赤城ロータリークラブ

群馬第2分区 IM が9月6日、矢野亨パストガバナーをゼネラルリーダーに迎え準備段階より適切なご指導を頂き桐生地域地場産業振興センターと、桐生商工会議所ケービックホールを会場として、分区内10クラブ400人のご登録を頂いて盛大に開催する事が出来ました。ジョナサン・B・マジアベ RI 会長のメッセージ、親愛なる皆様へとして2003-04年度ロータリアンに向けて私の願いは正に「手を貸そう」の一言と申し、又、森田ガバナーメッセージ「思いやりの心で手を貸そう」のもと、7つの強調事項の中から3つのテーマに絞って分科会を設定いたしました。尚、講演会には「郷土を美しくする会」会長松崎靖様をお迎えし「郷土を美しくする」をテーマに45分間の講演を頂きました。

.....

### 第1分科会（商工会議所ケービックホール1）

「理事会運営について」（クラブの充実と発展）

リーダー 根立秀治（伊勢崎 RC）

サブリーダー 田部井佐平（群馬境 RC）

サブリーダー 須永登（桐生中央 RC）

### 第2分科会（商工会議所ケービックホール2）

「21世紀のロータリー活動」（身体奉仕と、資金）

リーダー 阿部高久（桐生 RC）

サブリーダー 大和仁（伊勢崎中央 RC）

サブリーダー 都丸洋（伊勢崎南 RC）

### 第3分科会（地場産業センター）

「会員増強と退会防止」（新会員に十分な情報と親睦を）

リーダー 大友昭久（桐生南 RC）

サブリーダー 鈴木理之（桐生西 RC）

サブリーダー 金井朗（伊勢崎東 RC）

.....

各分科会もリーダー・サブリーダーの下に進められロータリアンによる意見百出、ロータリーの要諦も得られ有意義な IM とする事が出来たと思います。終了後全体会にて各リーダーによる分科会ごとの報告があり最後に矢野ゼネラルリーダーの講評に概ね IM の目的は達せられた事であろうとのお言葉を頂くことが出来ました。IM の2部として懇親会では「大いに楽しもう懇親会」をテーマに友情交換、情報交換の場と変わり、又アトラクションとしまして、当クラブの会員、家族によるダンス八木節の披露と、楽しく有意義な一日でありました。

最後に、ご参加頂きました全てのロータリアン、リーダー・サブリーダーをお引き受けくださいました直前会長の皆様、桐生赤城 RC 実行委員及び会員の皆さんの労に感謝申し上げます。

## 第3分区 IM 開催報告

国際ロータリー第2840地区

第3分区アシスタントガバナー 吉田 宗夫

ホストクラブ 高崎南ロータリークラブ

開催日	2003年9月14日		
場 所	高崎市 長谷川ホテル		
ホストクラブ	高崎南ロータリークラブ		
パネルディスカッション	リーダー	吉井 孝夫（高崎）	
	サブリーダー	池下 隆雄（高崎北）	環境保全
		荻野 高（高崎東）	青少年健全育成
		福田 泰久（高崎ソフオー）	女性会員増強
		中森 隆利（高崎セントラル）	退会防止

IM開催前、リーダー会議に於いて討論方法の検討、参加者よりの意見を無記名のアンケートにより地区ガバナーの強調項目より頂きサブリーダーが分担し討論するディスカッション方式で進行する事に決定しました。

機関紙「ロータリーの友」に再三にIMに関する記事が投稿されている事はご承知の通りで「年中行事化し義務的に消化されている傾向が現実で無駄ではなからうか、地区の行事が多すぎる」等。しかし年度前の諸会合は、これから始まるクラブ運営の指針で本日は既に年度に入り既に数ヶ月を経過し、実行の段階に於ける諸問題の討論会で活発なご意見を期待する次第です。

### 環境問題 池下サブリーダー

個人レベルで身近な問題から取り組み、より良い環境を温存し次の世代に渡す事の重要性の自覚に基づく行動が必要なのではないか。クラブ例会中の禁煙にしても中々困難な実情である。

### 青少年健全育成 荻野サブリーダー

インタラクティブの活動に積極的に参加、援助を行って居るが殆どが女性会員で男性会員の増強を期待している。プロバスクラブには当東クラブ会員も入っており活動して居ります。

### 女性会員の増強 福田サブリーダー

第3分区では女性会員が2クラブ6名と極めて少ない状況である「みんなに公平か」と言う事は女性にも公平かと拡大セミナーの女性会員のご意見でした。いろいろ事情もあるにせよ女性会員が居りますと例会が大変明るくなります。会員の増強は女性に喜ばれるようなプロジェクトを考える必要があるのではないか。

### 退会防止 中森サブリーダー

社会情勢からも会員増強が難しい退会防止は、増強と表裏一体である防止はクラブ運営の問題でもある「入会したが面白くない」「クラブに馴染めない」等考慮すべき点が多々あるのではないか。

以上サブリーダーの談話の後、吉井リーダーより参加よりの発言を求め多くの意見を頂きました。同市内のクラブ会合なので討論も活発で限られた紙面で意も尽くせませんが、懇親会では各クラブ混合の席で尚引き続き「云いたい事 聞きたい事」の議論に花が咲きましたが残念ながら収録できません。

付記：報告書は現在委員が鋭意編集集中で出来次第出席者に配布出来ますので暫時ご猶予下さい

### ~第3分区IM写真集~



第3分区吉田アシスタントガバナー



全体風景



手に手つないで



懇親会

## 第4分区 IM 開催報告

国際ロータリー第2840地区

第4分区アシスタントガバナー 佐藤 珠夫

ホストクラブ 館林東ロータリークラブ

日時 2003年9月13日(土)  
場所 グローバルアイ羽衣  
開会式 2840地区第4分区10クラブ、200名参加

2840地区森田ガバナーの「思いやりの心で、手を貸そう」の強調のもと高木ゼネラルリーダーの環境破壊、道徳、倫理の崩壊と問題は多様化し拡大している今ロータリーはどうあるべきかの問いにより開催されました。

分科会 第1分科会 「皆で魅力ある21世紀のロータリー作りを」  
「女性会員の増強と退会防止」

カウンセラー：北村 彪(太田)

リーダー：常見 隆(太田)

サブリーダー：井上 正(太田西) 梶塚 健一(新田)

第2分科会 「環境保全と青少年の健全育成を中心に  
地域社会に思いやりの心で手を貸そう」  
「広報活動の推進」

カウンセラー：富田 佳典(館林東)

リーダー：堀口 一宇(館林)

サブリーダー：成塚 和頼(太田南) 大澤 宏敬(太田中央)

第3分科会 「世界に思いやりの心で手を貸そう」

カウンセラー：野辺 昌弘(館林)

リーダー：橋本 剛(大泉)

サブリーダー：三田 正治(館林西) 野田 真一(館林ミレニアム)

各分科会とも時間が足りず熱気にあふれた分科会になりました。

全体会議 各分科会のリーダーにより報告がなされた後、「東毛の於ける地区補助金プロジェクト」と題して重田政信パストガバナーによる講話があり、高木ゼネラルリーダーより短い講評を頂き終了しました。

懇親会 ロータリー財団奨学生の矢島吹涉樹訓のピアノ演奏により開始され最後まで全員残られ楽しい懇親会になりました。

~第4分区 IM 写真集~



ロータリーソング斉唱



登壇者



第1分科会

ロータリーが  
ミーティング

館林

太田、館林地区などの十  
ロータリークラブでつくる  
国際ロータリー第二八四〇  
地区第四分区のインターシ  
ティ・ミーティングが館  
林市内の結婚式場で開か  
れ、約二百人が参加して情  
報交換した。

ミーティングは各クラ  
ブが持ち回りでホストを  
務め、毎年一回開いてい  
る勉強会。同分区の太田、  
太田西、太田南、太田中  
央、新田、大泉、館林、館  
林西、館林東、館林ミレ  
ニアムの各クラブが参加し  
た。

開会式では、ホストクラ  
ブを務めた館林東の吉田和



あいさつする佐藤アシスタントガバナー

美会長による歓迎の言葉に  
続き、佐藤珠夫・同分区ア  
シスタントガバナーが「き  
たのない意見を発表し、  
活発に情報交換してほし  
い」とあいさつ。参加者は  
三分科会に分かれ、ロータ  
リーの活性化や奉仕活動の  
あり方などについて話し合

IM 新聞記事 (上毛新聞より抜粋)

## 第5分区 IM 開催報告

国際ロータリー第2840地区

第5分区アシスタントガバナー 阿形 登氏

ホストクラブ 沼田ロータリークラブ

秋晴れの澄みった空もと、第5分区 IM が開催されました。

9月27日ホテルベラヴィータにて、総勢140名の参加で実施いたしました。長引く不況で大変な中、多くのロータリアンの参加を得て盛大に行われたことに対し、厚く御礼申し上げます。本年は「ロータリーの基本に戻ろう」と提案しそれぞれ討論いたしました。高木ゼネラルリーダーには「ロータリーとは」について、わかりやすくご講演いただき、参加者にとって大変有意義な時間となりました。

第1分科会では林栄一リーダー、山田信行サブリーダー、水出文夫サブリーダーで各クラブ情報と広報について活発な討論がなされました。これにつきましては若手で優秀な会員の津久井君より次のとおり感想を述べていただきました。

### < 第1分科会参加の感想 >

各クラブの方から約5分間の意見発表が行われました。その中で最後に意見が出された、会員増強と財政の話が非常に興味を引きました。会員が減ると組織が弱体化するので増強しなくてはならないが、実際には会員の質が非常に問われていることだと痛切に感じました。確かに量は必要ですが、出席をして頂くことを前提に勧誘しなくては、意味がありません。どうしてもこのようなご時世で会員が減ったりしてなかなか入会してもらえないのでハードルを低くして勧誘してしまいますが、しっかり話しをして理解して入会していただくことが非常に大切ではないでしょうか。「部外者から認められるロータリー」を前提に会の運営をすべきだと思います。そのためには、約100年続いたロータリークラブの原点に戻ってクラブの例会などクラブ奉仕に力を入れなおす必要があると思います。また、ロータリークラブを知っていただくためにPR活動に力を入れることも重要です。入会をしていることが誇りに思えて初めて会員増強もうまくいくと思います。ロータリーの基本を考えることができた分科会でした。

第2分科会ではリーダー森田均ガバナーと近内尚志サブリーダーのもとで第2650地区制作の「ようこそロータリーへ」のテキストを中心にロータリーの設立から今日までについて話し合われました。この感想については、沼田ロータリークラブの新入会員の小菅君より次のように述べていただきました。

### < 第2分科会に出席して >

一般的にどんな団体でも、新人にはそれなりの説明があるのだろうと先入観があった私には、ロータリークラブに入会して諸先輩から次々とロータリー専門用語で話され、語られそして指示されたりと一方通行で、本当に戸惑う事がありました。とにかく私には、『奉仕の団体』というイメージしかありませんでしたから、殆どの事が何の事やらチンプンカンプンで・・・！？しかし、今回のIMで新会員のための分科会に於いて、森田均ガバナーは物事(情報)を難しく伝えるのではなく、非常に解り易く、優しく、楽しくお話して頂き、頭の弱い私でもロータリークラブの事が少しは理解出来た気がします。特に最初の「ロータリーは“相互扶助”と“自己研鑽”ですネ！」はハハ！と納得してしまいました。やっと一歩が踏み出せた思いです。心から参加出来た事が

良かったと感謝しています。これからは自身と自覚を持って行動していくつもりです。

最後は親睦会で各クラブの交流が計られました。アトラクションとしては沼田クラブの富澤君のお嬢さんが所属する「風民」の演奏を楽しみながら終了いたしました。以上ご報告いたします。

～第5分区IM写真集～



森田ガバナー



阿形第5分区アシスタントガバナー



第1分科会



第2分科会



懇親会



手に手つないで

## 第6分区 IM 開催報告

国際ロータリー第2840地区  
第6分区アシスタントガバナー 田島 正夫  
ホストクラブ 富岡中央ロータリークラブ

日 時：2003年9月13日 13:00~17:40

場 所：ホテルアミューズ富岡

出席者：富岡・藤岡・安中・藤岡北・富岡中央・碓氷安中・藤岡南・富岡かぶら 8 RC 会員

今回は第6分区が独立して初めてのIMでもあり、従来型の分科会形式でなく最初から全員が一堂に会してプログラムを進行しようという考え方で企画しました。

プログラムの第1は「財団法人米山梅吉記念館」の理事長でありRI第2620地区パストガバナーの内藤通雄先生をお招きして日本ロータリーの創始者「米山梅吉先生に学ぶもの」の演題のもとに記念講演を実施しました。そのなかで米山梅吉先生がキリスト教的な精神を持っているけれども、生い立ちから真の国土的愛国者であったことを強調され、深い感銘を覚えました。

プログラムの第2は「交流広場」と題して「手を貸そう4大奉仕」についてのフォーラムを行いました。進行方法は4人の登壇者により4大奉仕の事例を発表し、その内容についてフォローから質問を頂きながら参加者全員が問題点、内容を把握、共有し、各クラブの運営の参考に供するよう試みました。

役割	登壇者	(敬称略)
コーディネーター・ゼネラルリーダー	: 清 章司	
クラブ奉仕担当	: 富岡 RC 会長 松倉 紘洋	
職業奉仕担当	: 藤岡 RC 職業奉仕委員長 五十嵐千明	
社会奉仕担当	: 安中 RC 会長 正田 弘一	
国際奉仕担当	: 藤岡北 RC 会長 山口 勝	
進行アシスタント	: 富岡中央 RC 大島 雅彰	
質問者	内容	
藤岡南 RC 豊川一男	: 退会防止	
碓氷安中 RC 間寄忠男	: 職業奉仕の在り方	
富岡かぶら RC 山田利和	: 安中遠足マラソン	
富岡中央 RC 小堀良夫	: 姉妹クラブ提携	

各部門毎の説明、質問に対しコメントされ、コーディネーターより適切なアドバイスがなされた。

総評	: 清ゼネラルリーダー
クラブ奉仕	: 例会の運営、会員の維持退会防止、休眠会員、家族会
職業奉仕	: 中高生の職場体験、職業奉仕の理念、「ロータリーの友」事例
社会奉仕	: 「安政遠足」の好事例
国際奉仕	: 海外提携、WC Sのハウツー、8クラブ今後の取り組み

以上所期の目的を達成し、良いプログラムであったと好評を受けましたので報告します。

# 式典



# 交流広場



# 記念講演

群馬第六分区 IM 記念講演  
米山梅吉先生から学ぶもの  
米山梅吉記念奨励賞 内藤成雄



# 懇親会



# 米山奨学生



参加クラブの取り組みが紹介されたフォーラム

近隣のR.C.が集まり情報交換  
富岡  
国際ロータリー第2840地区第2840地区のIM(インターシティ・ミーティング)が富岡市の富岡中突ロータリークラブ(小畑良夫会長)をホストクラブとして、同市内のホテルで開催された。  
IMは近隣都市のクラブが集まり、情報交換や親睦を促すため毎年開催されているが、県内の

# 広報 上毛新聞

分区分が再編成され、同分区としての開催は今回が初めて。  
閉会式に続いて記念講演が行われ、日本のロータリーの父とされる米山梅吉氏の事跡を、米山梅吉記念富岡の内務成理事長が紹介。生誕100年を記念して、この世に米山精神を復活させるのがロータリーの役割」と説いた。  
「交流広場」と題したフォーラムは、ロータリーの使命である四大奉仕(クラブ、職業、社会、国際)を進めするための各クラブの取り組みがテーマ。国際奉仕の分野では、海外のクラブと姉妹提携を結び、提携クラブの事業を援助していることなどが紹介された。

## 「女性会員増強フォーラムを終えて」

国際ロータリー第2840地区

女性会員増強委員長 稲木 愛子

去る9月20日(土)、前橋市内のマーキュリーホテルにて「女性会員増強フォーラム」を開催致しました。公式訪問でご多忙の森田ガバナーをはじめ、役員の皆様のご出席と2005年までに2840地区の女性会員を100名に！と提唱された清パストガバナーにはフォーラムリーダーとしてご挨拶及び講評を頂戴致しました。

この女性会員増強フォーラム(昨年まではセミナー)も3回目の開催となった今回は、女性会員の方だけではなく、クラブより13名の会長、会長エレクト及び会員増強委員長にもご出席をお願いしました。

このフォーラムを開催するにあたり、あらかじめ当地区女性会員の方々へ以下のような内容のアンケートの回答をお願い致しました。

あなたの所属しているボランティア団体を教えてください、またその団体の活動内容を具体的に記載してください

ロータリークラブでは財団奨学生又は青少年交換等の奉仕活動がありますが、海外からの留学生を受け入れることに抵抗はありますか また、身内の方を海外留学させたいと思っていますか 思わないと答えられた方、何か理由がありますか

今年4月29日に群馬県民会館にて開催されたRI第2840地区社会奉仕委員会主催「教育問題講演会」に参加されましたか また今後どんな教育問題に関するセミナーを行って欲しいですか 回答率は非常に高く、その上フォーラムへの参加者も多勢でした。

今回のフォーラムは、主催者側が一方的に何かをお伝えするのではなく、参加された会員がグループディスカッションにより交流を深めて貴重な情報交換をしてもらうのが目的でした。

グループディスカッションのテーマは1、入会後の感想2、ロータリアンとしてのボランティアについて3、会員増強、特に女性会員の増強をどう思いますか の3項目に絞り、4つのグループに分かれて討論を行いました。予想以上の白熱したディスカッションで予定時間をオーバーしてしまうグループも出るほどでした。全体会においてグループリーダーにより結果の発表を行いました。「是非またこのようなフォーラムを開催して欲しい」、「ディスカッションの時間をもっと多く」といったものが共通意見として挙げられました。

2840地区の女性会員のパワーを強く感じました。

ロータリー発祥の地であるシカゴの100周年祭へ

熱く胸をおどらせ燃えた一日でした。

感謝、感謝。



森田ガバナー



清パストガバナー  
(フォーラムリーダー)



北村地区問題委員長



グループ・ディスカッション

## ロータリー財団セミナーを終えて

国際ロータリー第2840地区

ロータリー財団委員長 富田 佳典

各クラブのロータリー財団委員長による財団セミナーを10月4日午後より、前橋マーキュリーホテルで開催しました。

例年は翌年の3月か4月に行われていましたが、森田ガバナーの指示により、仕掛けは早い程良いとのご教示があり10月の開催となりました。

委員長が都合で出席できなかった10クラブ程は会長等が代行され、全クラブの出席をみました。

食事の後、一倉克己地区副幹事の名司会により13時30分よりスタートしました。

ロータリー財団委員長の開会の言葉に続き、森田ガバナーから財団の占める位置とその重要性についての挨拶がありました。

RIを支える全ての根源が財団であるという事を改めて確認されました。特に所謂、入口出口論を本年は良く一般会員に理解されるよう努力して欲しい旨、ガバナーより強く要望されました。

委員長から上期の実績として、年次寄付、恒久基金、ポリオプラス等は既に各クラブを通じRIに送金されていますとの報告をしました。

入口は容易に理解されますが、難解なのは出口が多岐に亘る事と、手続きが簡単ではないという事です。今回は高木貞一郎パストガバナーより、地区補助金委員長としての立場から細かい説明があり、国外から国内にも対象が移ったという身近な話が聞かれ大いに参考になりました。

参加のメンバーからも、かなり鋭い質問もあり時間が足りない程でした。

周知の財団プログラムとしての

教育的プログラム

人道的補助金プログラム

ポリオプラス・プログラム

はお渡ししたパンフレットに詳細に記載されていますが

の財団奨学生の選考は8月に終了、

ポリオプラスも各クラブ、御理解の上送金済みとのでした。

の補助金が今回のセミナーの大きな項目となりました。

シェアシステムの60%(DDF)が地区で独自に用途を決定する事ができるようになりました。

地区内での植樹、車椅子の寄贈、識字率向上の1つとして在日外国人の為に辞書などの寄贈、スポーツ大会、コンサート、ゴミ拾い等といろいろあり、その選択と実行には準備や話し合い等初めての出会いだけに大いに期待も持てる事業です。

対象を自地区の近くに見つけロータリー財団を一般市民の方々に大きく理解され活用される新制度ですので絶好のチャンスとして下さい。



森田ガバナー



高木パストガバナー  
地区補助金委員長



セミナー風景



富田ロータリー財団委員長

## ライラ研修会報告

国際ロータリー第2840地区  
ライラ委員長 田沼 則男

開催日時：平成15年10月4日(土)AM10:00～/5日(日)PM16:00

会場：国立赤城青年の家

出席者：研修生	99名(内 留学生 19名)
ロータリアン	57名
ホストクラブロータリアン	27名
合計	183名

### 【報告事項】

今回は、過去2回の研修会を前提に、環境問題や国際社会・戦争と平和、すべてを飲込む宇宙をテーマとして、ピックアップや地球の誕生と生命、人間として地球人としてすべての枠を飛び越えた時「今私たちに出来ること・・・」自分自身を知ることが最大のテーマとして研修会を実施致しました。

まず初日は、無限の宇宙を宇宙科学研究所(現在・宇宙航空研究開発機構：JAXA)教授でいらっしゃる小杉先生より基調講演を行い、宇宙の成り立ちがどうなっているのか、映像を含め皆さんに理解して頂き、その後、先生から非常に難しい問題を頂き、グループごとに全員でその問題の解決に取り組んで頂きました。意外なことに、正解率の高い事に驚き、しかも先生から群馬の人たちはすばらしいとお褒めの言葉を頂きました。しかし、不正解のグループもありましたのでチョットしたお遊びで罰ゲームとして、一番の不正解グループには、全員にせんぶり茶を飲んで頂きその場を和ませ、他のグループには宇宙食を食べて頂き一瞬宇宙飛行士になった気分を味わって頂きました。

その後、日本ペットボトルクラフト協会のご指導のもとグループごとに水ロケットを作成して頂き、ロケットの仕組みや人とのコミュニケーションがいかに重要であることを認識してもらいました。いよいよカウントダウン、思っていた以上に飛んだので参加者たちは驚きと興奮で盛り上がりました。

その夜、気分を変えて赤城の夜空でのビデオ上映、もう一度宇宙観に浸って頂き自然との一体感に思いをよせ、レフティーアローンによるギター演奏で盛り上げました。後半は、UFOの代わりに冷たい雨を呼んでしまいましたが、全員入室することなく最後まで聞き入れてくれたことに感謝しております。

翌日は、地球に焦点をあて、群馬県立自然史博物館館長の長谷川善和先生にご講演を頂き、私たちの母なる星、地球の歴史や生命を学びいよいよ研修も大詰め、TBCグループ副会長の齋藤隆先生による「私たち人間ってなあ～に」宇宙とリンクする人間が如何なるものか、私たちに秘められた小宇宙をスプーン曲げやオーリングを通して、今までの自分これからの自分を見つめ直し、限られた時間をいかに過ごすか、個人個人の心の内部に迫り二日間の研修を閉じました。

今回の研修を行うにあたり、私たちはどんな事でもいいから一つ二つでも何か学び取ってほしいと考え「宇宙と人間」私たちってなあ～に！という壮大なテーマを企画し実施致しました。この結果は、参加者たちの感想文を読んで頂ければ必ずわかると思います。

最後に、JAXA小杉先生をはじめとする関係各位、地区役員、コ・ホストの富岡RC、そして最後までおつきあい頂いた研修生やロータリアンの大勢の皆様に感謝し、また、私が所属するホスト・大泉RCに重ねて感謝致します。ほんとうにありがとうございました。



集合写真



全体会議風景



宇宙飛行士?と握手!

## ~国際大会PR~

~楽しいイベントやショップで国際交流を深めよう~

= 友愛の家紹介 =

国際大会のひとつの花は、“友愛の家”のプログラムです。

大阪国際会議場のエントランスとリーガロイヤルホテルの大宴会場とロビー、また、ステージを含めて3階および2階のほとんどすべてが“友愛の家”広場となります。

多くのロータリアンと気軽に触れ合う場にもなります。

### 展示ブース

- ・ ロータリーの奉仕プロジェクトの写真展示
- ・ ロータリー99年の歴史の流れを見る
- ・ ロータリー第2世紀へ向けての計画

### 販売コーナー

- ・ ロータリーグッズ
- ・ 日本のおみやげ
- ・ その他、国際大会（関西）記念グッズなど

### 軽食コーナー

- ・ サンドイッチ、ホットドッグなどの軽食や、お好み焼きやたこ焼きなど関西の食も取り揃える予定

### 呈茶席

- ・ 日本の伝統文化である茶道の体験コーナー。裏千家による茶道デモンストレーションを含めての紹介コーナー

### イベントコーナー

- ・ ステージでの日本舞踊、日本楽器演奏（三味線、尺八、琴、笛など）
- ・ ジャズ、スウィング、ブラスバンドなどの演奏を予定
- ・ 他、大道芸、チンドン屋等の出演も計画中

### インターネットカフェ

- ・ 自由にインターネットを楽しんでいただくコーナー

“友愛の家”もまだまだ計画段階です。上記は一例でこれから開催に向け、内容をさらに充実させるべく準備を進めてまいります。

“友愛の家”で、世界のロータリアンとの交流を深めましょう！



# 第2840地区 2003年9月出席報告

クラブ数	会員数				
	月初	9月末日	純増減会員数	女性会員数	当月平均出席率
47	2,279	2,290	11	63	87.07

クラブ名	例会数	出席率 (%)	会員数				クラブ名	例会数	出席率 (%)	会員数					
			月初	月末	増減	女性				月初	月末	増減	女性		
第1分区	前橋	4	96.51	100	101	1	3	第4分区	太田	4	91.38	93	93	0	0
	前橋西	4	98.24	71	71	0	2		館林	4	90.74	59	59	0	0
	前橋東	3	92.17	73	72	-1	0		大泉	4	83.66	57	56	-1	2
	前橋北	3	93.28	59	59	0	3		太田西	4	84.55	38	38	0	1
	前橋南	4	80.63	40	40	0	0		太田南	5	93.50	51	51	0	0
	前橋中央	4	89.87	37	38	1	6		館林西	4	84.01	28	28	0	0
	合計(6クラブ)		91.78	380	381	1	14		新田	4	94.83	36	37	1	0
第2分区	桐生	4	81.00	63	63	0	0	館林東	4	83.33	32	32	0	1	
	伊勢崎	4	88.81	72	74	2	0	太田中央	5	80.00	38	38	0	2	
	桐生南	4	86.63	49	49	0	3	館林ミレアム	4	84.37	28	28	0	0	
	群馬境	4	80.20	46	46	0	3	合計(10クラブ)		87.04	460	460	0	6	
	桐生西	4	96.33	63	64	1	1	第5分区	渋川	4	91.54	73	74	1	2
	伊勢崎中央	4	84.68	64	65	1	1		沼田	4	82.54	53	53	0	0
	伊勢崎南	4	86.88	40	41	1	1		草津	4	78.95	27	27	0	2
	桐生中央	4	86.42	38	38	0	5		水上	4	83.33	8	8	0	0
	伊勢崎東	4	92.00	35	35	0	1		中之条	4	78.65	27	28	1	1
	桐生赤城	4	97.09	43	43	0	2		沼田中央	4	85.68	60	60	0	0
合計(10クラブ)		88.00	513	518	5	17	渋川みどり		4	86.73	42	42	0	2	
第3分区	高崎	4	77.46	73	74	1	0	合計(7クラブ)		83.92	290	292	2	7	
	高崎南	3	91.72	70	71	1	3	第6分区	富岡	4	94.54	57	57	0	3
	高崎北	4	87.04	60	61	1	0		藤岡	4	91.33	54	53	-1	2
	高崎東	4	96.57	55	55	0	0		安中	4	74.22	32	32	0	0
	高崎シフォニー	4	86.11	50	50	0	3		藤岡北	4	87.50	21	22	1	1
	高崎セントラル	4	76.03	42	42	0	0		富岡中央	4	90.68	39	39	0	1
合計(6クラブ)		85.82	350	353	3	6	碓氷安中		4	78.71	27	27	0	3	
							藤岡南	4	85.42	28	28	0	2		
							富岡かぶら	4	86.21	28	28	0	1		
							合計(8クラブ)		86.08	286	286	0	13		

## 公式訪問・行事予定

### 11月の公式訪問予定

11月4日 渋川みどり  
 11月6日 草津  
 11月11日 館林西  
 11月12日 館林東  
 11月18日 沼田  
 11月19日 水上  
 11月20日 沼田中央  
 11月25日 中之条  
 11月27日 渋川

### 11月の行事予定

11月1日 } RI第2560地区 地区大会  
 11月2日 }  
 11月15日 職業奉仕委員会研修会  
 11月15日 第7回茶の湯倶楽部研修会  
 11月17日 八社会  
 11月27日 ローターリー財団地域セミナー(東京)  
 11月28日 規定審議会打ち合わせ会議  
 11月29日 } ローターリー・ゾーン研究会  
 11月30日 }

11月のロータリーレートは

1ドル 110円 です